



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年10月31日

上場会社名 OKK（大阪機工株式会社） 上場取引所 東・大
 コード番号 6205 URL <http://www.okk.co.jp>
 代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 井関 博文
 問合せ先責任者 （役職名） 取締役執行役員管理本部長 （氏名） 高原 宏幸 TEL 072-771-1158
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	12,813	17.0	815	96.3	619	260.5	528	190.5
24年3月期第2四半期	10,954	30.3	415	—	171	—	181	—

（注）包括利益 25年3月期第2四半期 135百万円（－％） 24年3月期第2四半期 △6百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	6.68	—
24年3月期第2四半期	2.30	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	44,511	18,352	41.2
24年3月期	45,336	18,216	40.2

（参考）自己資本 25年3月期第2四半期 18,352百万円 24年3月期 18,216百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期（予想）	—	—	—	2.00	2.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	3.8	1,400	25.5	1,100	32.1	900	△10.7	11.38

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名） 除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 【添付資料】P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	81,465,568株	24年3月期	81,465,568株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	2,371,900株	24年3月期	2,367,338株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	79,095,652株	24年3月期2Q	79,102,278株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P 2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P 3
3. 四半期連結財務諸表	P 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P 8
(4) 継続企業の前提に関する注記	P 9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、長引く欧州の債務問題や新興国経済の陰りなどにより、不透明な状況で推移しました。日本経済においては、緩やかな増加基調ではありましたが、世界経済の減速や長期化する円高等の影響もあり、やや弱含みで推移しました。

このような状況下、当社グループは「お客様の信頼に応える」という経営理念を掲げ、3年後の創業100周年を展望し、以下の諸施策を実行し業績向上に取り組みました。

工作機械部門につきましては、昨年のVM53Rに続き、6月に高剛性を前面に打ち出した立形マシニングセンタVM43R・VM76Rを発表し、主力のVMRシリーズ3機種が完成しました。7月には横形マシニングセンタHMシリーズの中核機種であるHM500をリニューアルしたHM5000・HM6300Sを発表しました。これらVM76RとHM6300Sの2機種を含めた5台をシカゴで開催されたIMTSへ出展し、好評を得ました。9月には省スペースを実現し、操作性が大幅に向上した5軸制御立形マシニングセンタVC-X500を発表し、また、高剛性・高切削性能で定評のある横形マシニングセンタMCHシリーズにおいて、昨年のMCH8000に続き、上位機種MCH10000をシリーズに追加しました。生産部門におきましては、現場カイゼンによる生産効率の向上、海外調達比率のアップ等により一層のコストダウンに取り組み、利益率の改善に努めました。

さらに、生産子会社であるTHAI OKK MACHINERY CO., LTD. での一貫生産を進めてきました部品加工用の立形マシニングセンタVC51は、量産対応が可能な体制に入りました。

一方、水道メーター部門におきましては、昨年度より製販一体となった連結子会社にて事業展開を進めておりますが、市場価格の低下もあり厳しい状況が続いております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、12,813百万円（前年同期比17.0%増）となり、営業利益は815百万円（前年同期比96.3%増）、経常利益は619百万円（前年同期比260.5%増）、四半期純利益は528百万円（前年同期比190.5%増）となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、在外子会社の収益及び費用の換算方法の変更を行ったため、前年同四半期比較にあたっては、前年同四半期数値について遡及適用後の数値に基づき算出しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は44,511百万円となり、前連結会計年度末と比較して824百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金の減少616百万円、投資有価証券の減少366百万円、受取手形及び売掛金の減少238百万円、たな卸資産の増加506百万円などによるものであります。

負債は26,159百万円となり、前連結会計年度末と比較して959百万円の減少となりました。これは主に、借入金の減少854百万円、支払手形及び買掛金の減少68百万円などによるものであります。

純資産は18,352百万円となり、前連結会計年度末と比較して135百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金の増加528百万円、その他有価証券評価差額金の減少270百万円、為替換算調整勘定の減少121百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期連結業績予想につきましては、現時点においては平成24年5月11日公表いたしました数値から変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

・在外子会社の収益及び費用の換算方法の変更

在外子会社の収益及び費用は、従来、当該在外子会社の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、原則的方法である期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更しております。

この変更は、在外子会社の重要性及び近年の急激な為替相場の変動を勘案した結果、在外子会社の収益及び費用の連結財務諸表に占める重要性が増しており、今後もその傾向が見込まれることから、為替相場の変動による期間損益への影響をよりの確に連結財務諸表に反映させるために行ったものであります。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

これにより、遡及適用を行う前と比べて、前第2四半期連結累計期間の売上高は113百万円、営業利益は107百万円増加し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ7百万円増加しております。

また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は15百万円減少し、為替換算調整勘定の前期首残高は、同額増加しております。

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

・減価償却方法の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,963	6,346
受取手形及び売掛金	6,436	6,198
たな卸資産	8,607	9,113
その他	524	385
貸倒引当金	△52	△53
流動資産合計	22,480	21,990
固定資産		
有形固定資産		
土地	15,415	15,411
その他(純額)	4,625	4,558
有形固定資産合計	20,040	19,970
無形固定資産		
投資その他の資産	94	207
投資有価証券	2,333	1,966
その他	404	394
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	2,720	2,343
固定資産合計	22,855	22,521
資産合計	45,336	44,511
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,645	6,576
短期借入金	6,839	6,869
1年内償還予定の社債	100	—
未払法人税等	47	82
賞与引当金	258	260
製品保証引当金	57	59
その他	1,148	1,101
流動負債合計	15,096	14,949
固定負債		
社債	—	100
長期借入金	3,439	2,554
再評価に係る繰延税金負債	5,261	5,261
退職給付引当金	2,834	2,818
その他	487	474
固定負債合計	12,023	11,209
負債合計	27,119	26,159

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,283	6,283
資本剰余金	1,455	1,455
利益剰余金	1,794	2,323
自己株式	△527	△527
株主資本合計	9,006	9,534
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	368	97
土地再評価差額金	9,023	9,023
為替換算調整勘定	△182	△303
その他の包括利益累計額合計	9,210	8,818
純資産合計	18,216	18,352
負債純資産合計	45,336	44,511

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	10,954	12,813
売上原価	8,437	9,772
売上総利益	2,517	3,041
販売費及び一般管理費	2,101	2,225
営業利益	415	815
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	26	24
その他	7	5
営業外収益合計	37	32
営業外費用		
支払利息	87	82
為替差損	181	133
その他	12	13
営業外費用合計	281	229
経常利益	171	619
特別利益		
投資有価証券売却益	112	—
その他	0	—
特別利益合計	113	—
特別損失		
有形固定資産処分損	1	3
投資有価証券評価損	42	1
特別損失合計	44	4
税金等調整前四半期純利益	240	614
法人税、住民税及び事業税	57	104
法人税等調整額	1	△17
法人税等合計	58	86
少数株主損益調整前四半期純利益	181	528
四半期純利益	181	528

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	181	528
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△132	△270
為替換算調整勘定	△55	△121
その他の包括利益合計	△188	△392
四半期包括利益	△6	135
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6	135
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	240	614
減価償却費	445	390
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△53	1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3	2
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	119	△15
受取利息及び受取配当金	△30	△27
支払利息	87	82
投資有価証券売却損益 (△は益)	△112	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	42	1
売上債権の増減額 (△は増加)	△489	177
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,689	△590
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,064	△69
その他	236	106
小計	△135	675
利息及び配当金の受取額	29	27
利息の支払額	△88	△82
法人税等の支払額	△65	△43
営業活動によるキャッシュ・フロー	△259	576
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△112	△217
有形固定資産の売却による収入	14	8
投資有価証券の売却による収入	177	—
子会社株式の取得による支出	△198	—
貸付金の回収による収入	66	0
その他	△1	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△54	△202
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△197	55
長期借入れによる収入	150	—
長期借入金の返済による支出	△964	△909
社債の発行による収入	—	98
社債の償還による支出	—	△100
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△0	—
リース債務の返済による支出	△115	△113
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,127	△970
現金及び現金同等物に係る換算差額	△39	△18
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,480	△613
現金及び現金同等物の期首残高	5,244	6,912
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,763	6,298

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。